

2011年3月期 期末決算説明会

2011年5月17日(火)
日本ハム株式会社

目 次

1. 2011年3月期 期末連結業績の総括
2. 2012年3月期の見通し
3. 2011年3月期 期末財務データ

2011年3月期 期末連結業績の総括

1. オペレーティング・セグメント情報 第4四半期
2. オペレーティング・セグメント情報 通期
3. オペレーティング・セグメント情報 加工事業本部
4. オペレーティング・セグメント情報 食肉事業本部
5. オペレーティング・セグメント情報 関連企業本部
6. 海外 主要地域別業績実績

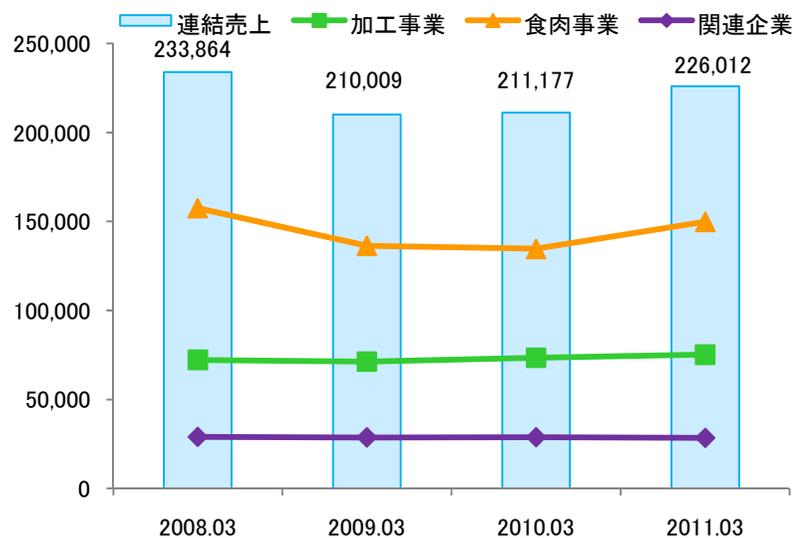
◆オペレーティング・セグメント情報【2011年3月期 第4四半期】

(単位:百万円)

		2008.03	2009.03	2010.03	2011.03
加工事業本部	売上高	72,224	71,189	73,404	75,157
	営業利益	△ 2,725	△ 1,539	△ 1,049	△ 1,394
食肉事業本部	売上高	157,457	136,389	134,612	149,850
	営業利益	1,666	△ 3,601	4,930	6,184
関連企業本部	売上高	28,898	28,652	28,727	28,382
	営業利益	△ 691	△ 1,340	△ 616	△ 401
消去調整他	売上高	△ 24,715	△ 26,221	△ 25,566	△ 27,377
	営業利益	855	△ 448	△ 1,631	△ 1,479
連結合計	売上高	233,864	210,009	211,177	226,012
	営業利益	△ 895	△ 6,928	1,634	2,910

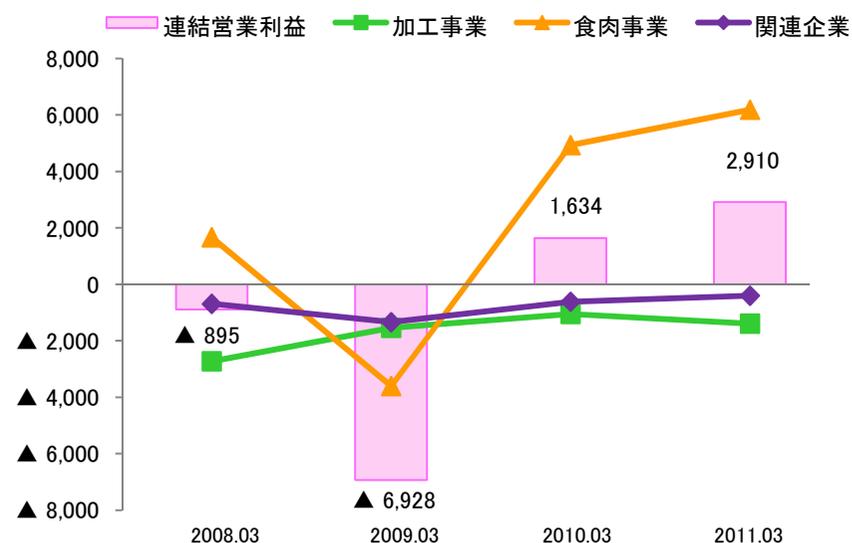
(単位:百万円)

売上高



(単位:百万円)

営業利益



※オペレーティング・セグメント情報の売上高と、当資料P18の品種別の売上高の数値とは一致しません。

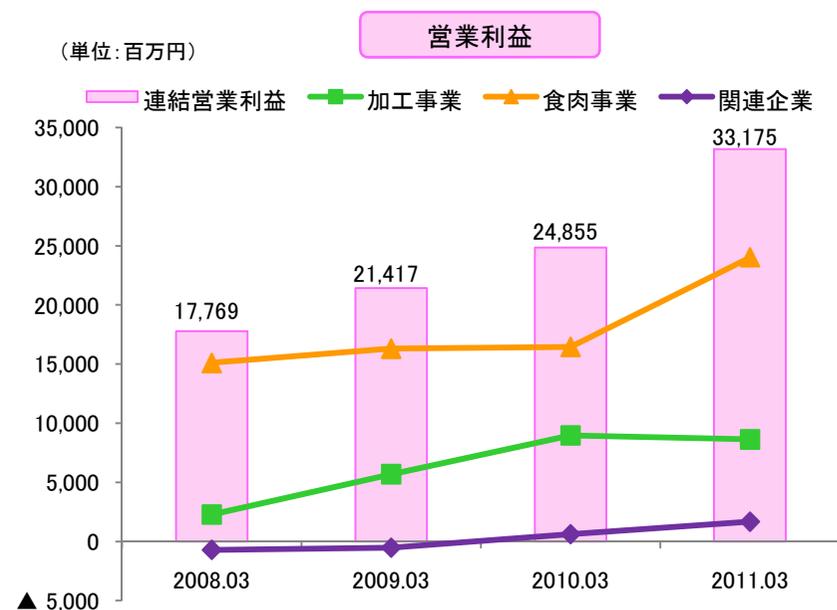
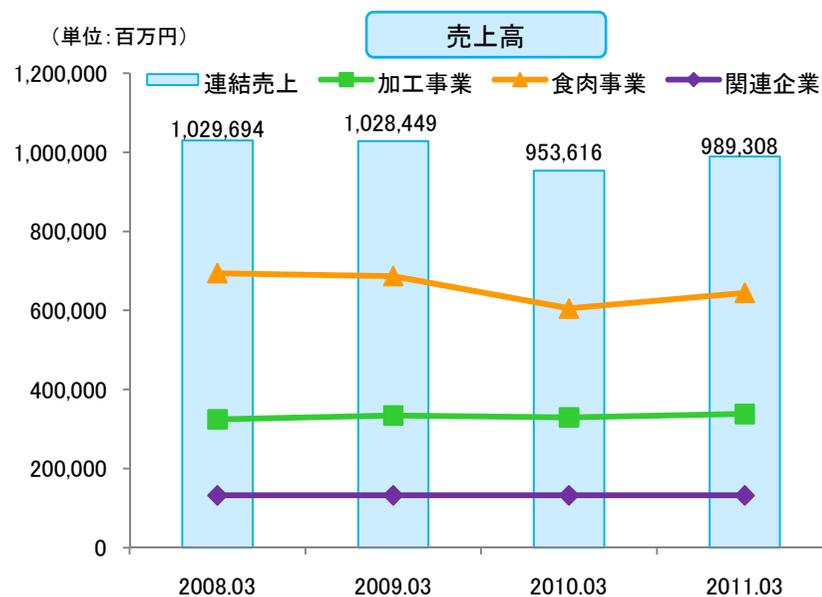
※各セグメントの売上高はセグメント間の内部売上高が含まれています。

※過年度の各セグメントの実績は、一部の子会社の管轄事業部を変更したため、組換再表示を行っております。

◆オペレーティング・セグメント情報【2011年3月期通期】

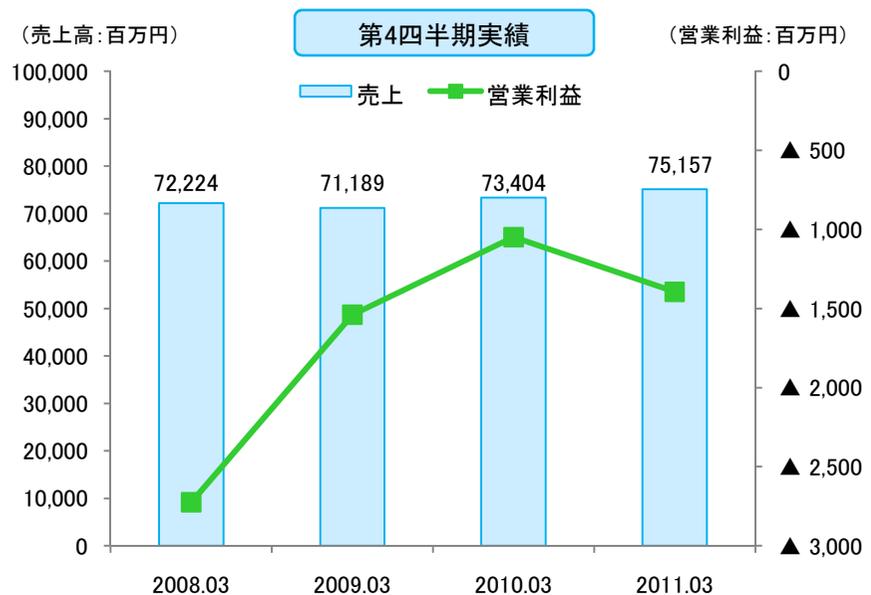
(単位:百万円)

		2008.03	2009.03	2010.03	2011.03
加工事業本部	売上高	324,741	334,513	329,436	338,027
	営業利益	2,268	5,688	8,973	8,629
食肉事業本部	売上高	694,269	686,798	604,928	644,327
	営業利益	15,101	16,307	16,459	24,020
関連企業本部	売上高	132,391	132,508	132,527	132,224
	営業利益	△ 704	△ 520	616	1,672
消去調整他	売上高	△ 121,707	△ 125,370	△ 113,275	△ 125,270
	営業利益	1,104	△ 58	△ 1,193	△ 1,146
連結合計	売上高	1,029,694	1,028,449	953,616	989,308
	営業利益	17,769	21,417	24,855	33,175



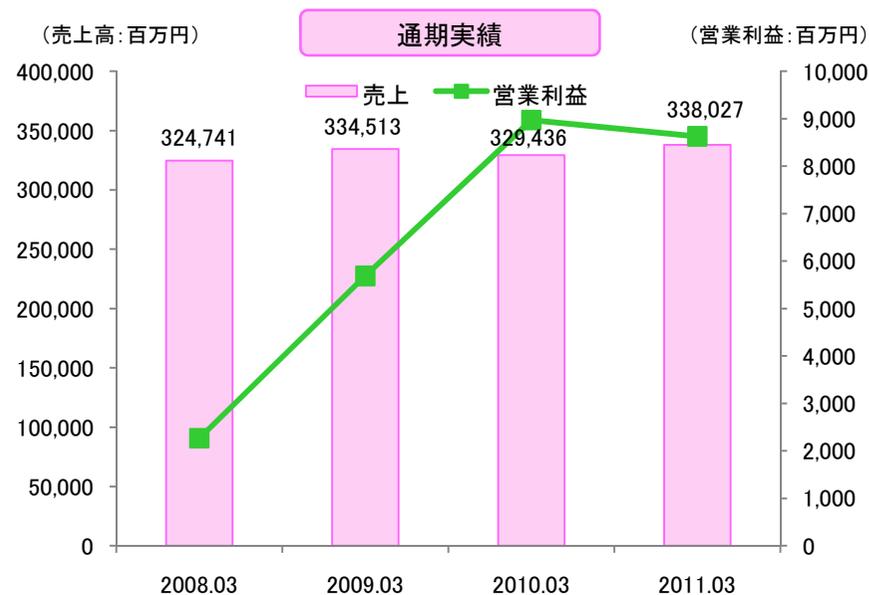
※オペレーティング・セグメント情報の売上高と、当資料P18の品種別の売上高の数値とは一致しません。
 ※各セグメントの売上高はセグメント間の内部売上高が含まれています。
 ※過年度の各セグメントの実績は、一部の子会社の管轄事業部を変更したため、組換再表示を行っております。

【加工事業本部】



(単位: 百万円)

	2010年3月期	2011年3月期	前年差	前年比
売上高計	73,404	75,157	1,753	2.4
営業利益	△ 1,049	△ 1,394	△ 345	-
営業利益率	-	-	-	-



(単位: 百万円)

	2010年3月期	2011年3月期	前年差	前年比
売上高計	329,436	338,027	8,591	2.6
営業利益	8,973	8,629	△ 344	△ 3.8
営業利益率	2.7%	2.6%	-	-

【第4四半期の状況】

(売上高)

- ・業務用商品の販売数量が伸長
- ・CVSのレジカウンター周りの数量伸長が売上増を牽引

(営業利益)

- ・ハム・ソーセージの売上減や原材料・燃料価格の高騰により減益

【通期の状況】

(売上高)

- ・ハム・ソーセージは販売数量微増で金額は減少
- ・加工食品は販売数量増等により増収
- ・業務用、外食、製パンチャネル等で大きく数量伸長

(営業利益)

- ・下期はSCM改革による効果があったものの通期では販売単価下落の影響をカバーできず。

●トピックス

【原料・資材価格の営業利益への影響額】

⇒(上期)原材料価格低減効果によりプラス (下期)想定範囲内の原材料価格上昇にとどまる

【加工事業本部トータルでの増減額】

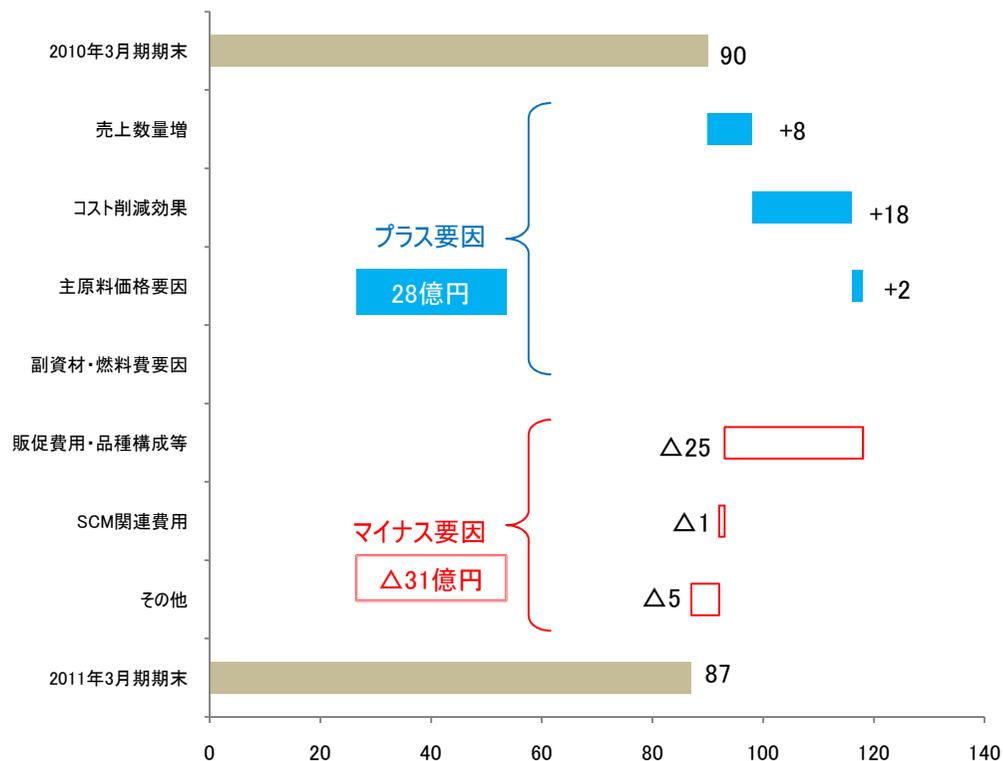
⇒(プラス要因)製造部門のコスト改善効果が利益に貢献

⇒(マイナス要因)価格競争激化の中、販売単価下落や上期の増量セール等の販促コストが要因

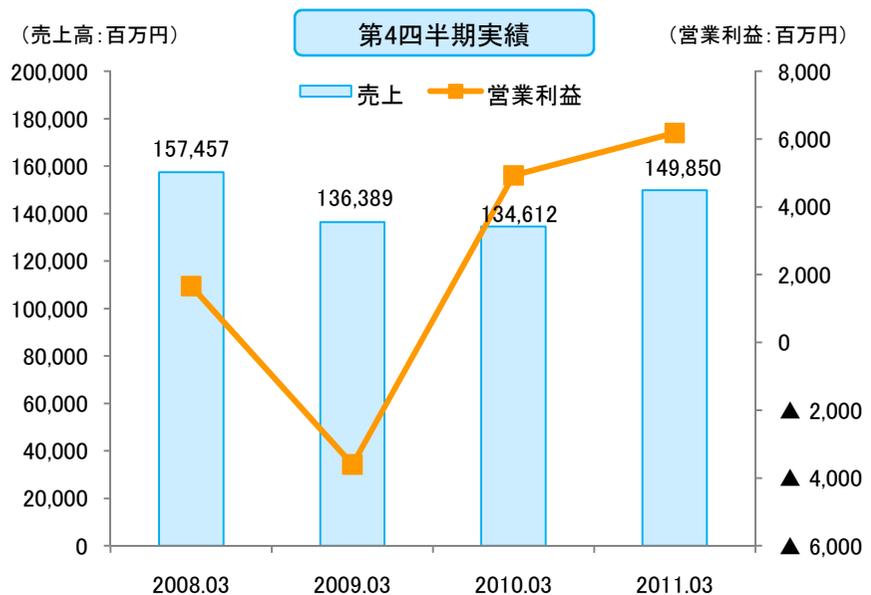
【加工事業本部 営業利益増減要因分析イメージ】

	2011年3月期 通期実績
売上数量増	8億円
コスト改善効果	18億円
主原料・副資材要因	
(内訳)主原料価格	2億円
(内訳)副資材・燃料等	0億円
プラス要因 合計	28億円
販促費用・品種構成等	△25億円
SCM費用(効果-費用)	△1億円
その他	△5億円
マイナス要因 合計	△31億円
合計	△3億円

【加工事業本部 営業利益増減要因(△3億円)】

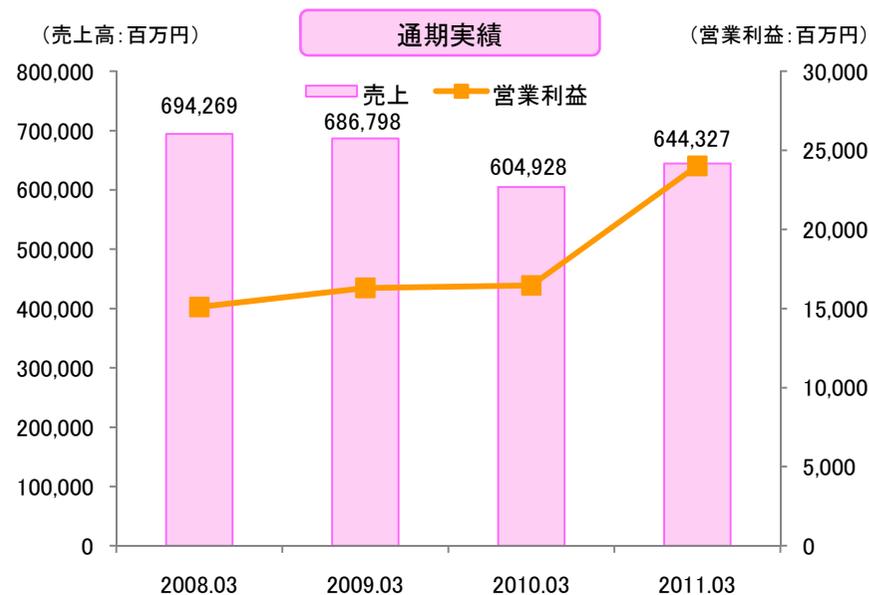


【食肉事業本部】



(単位: 百万円)

	2010年3月期	2011年3月期	前年差	前年比
売上高計	134,612	149,850	15,238	11.3
営業利益	4,930	6,184	1,254	25.4
営業利益率	3.7%	4.1%	-	-



(単位: 百万円)

	2010年3月期	2011年3月期	前年差	前年比
売上高計	604,928	644,327	39,399	6.5
営業利益	16,459	24,020	7,561	45.9
営業利益率	2.7%	3.7%	-	-

【第4四半期の状況】

(売上高)

- ・輸入食肉部門と海外食肉事業及び国内フード会社が増収に大きく貢献

(営業利益)

- ・海外事業の改善及び輸入食肉市況の改善により増益

【通期の状況】

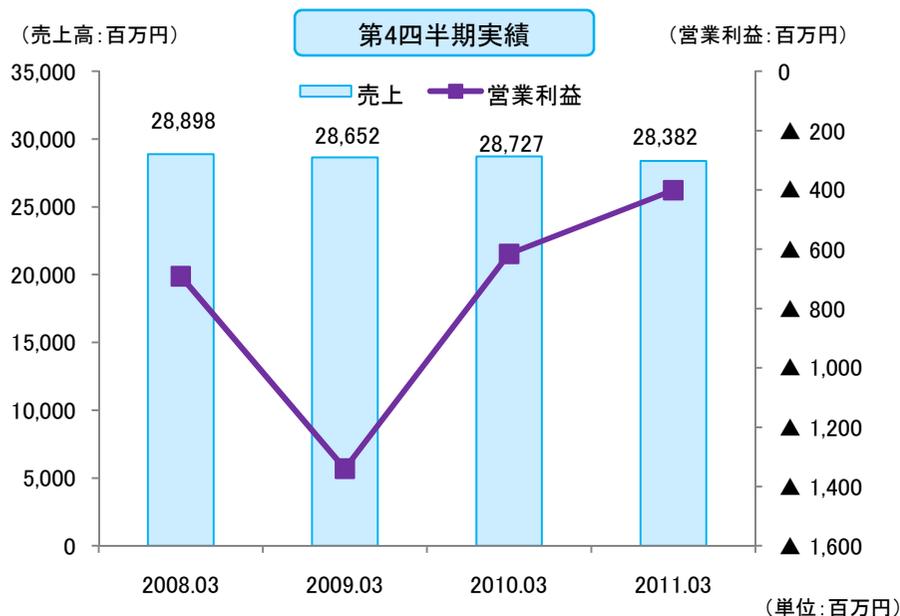
(売上高)

- ・食肉本体と海外食肉事業及び国内フード会社いずれも販売数量、金額が伸長

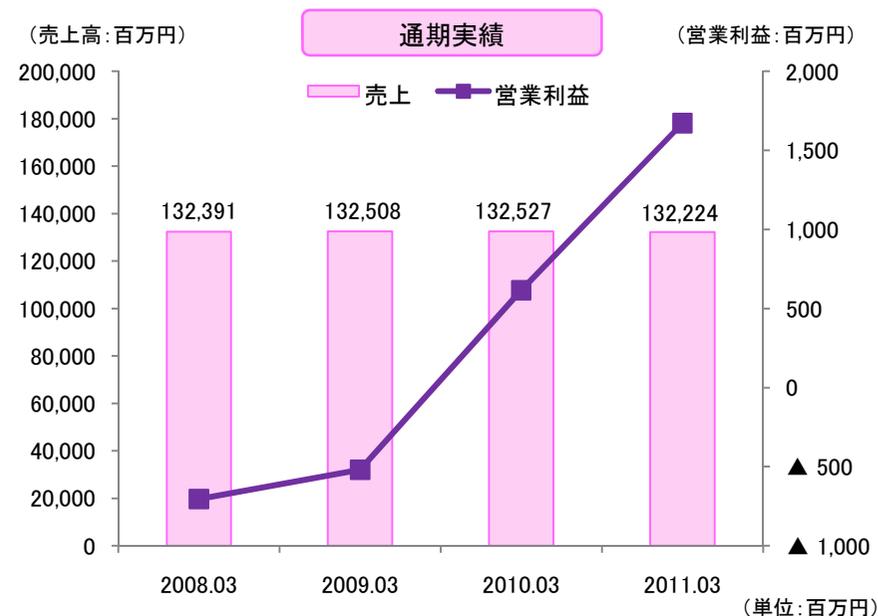
(営業利益)

- ・輸入食肉市況及び国内市況が堅調だったことに加え、国内ファーム事業において、生産コスト削減による利益率が改善

【関連企業本部】



	2010年3月期	2011年3月期	前年差	前年比
売上高計	28727	28382	△345	△1.2
営業利益	△616	△401	-	-
営業利益率	-	-	-	-



	2010年3月期	2011年3月期	前年差	前年比
売上高計	132527	132224	△343	△0.2
営業利益	616	1672	1056	171.4
営業利益率	0.5%	1.3%	-	-

【第4四半期の状況】

(売上高)

- ・水産は、国内相場の上昇により海外向けの原料販売が減少
- ・乳製品は、チーズが伸長したが、ヨーグルトが苦戦

(営業利益)

- ・水産は、鍋物商材などの自社工場製品の拡大により利益率を改善
- ・ヨーグルトは、量販店チャネルにおいて価格競争が厳しく減益

【通期の状況】

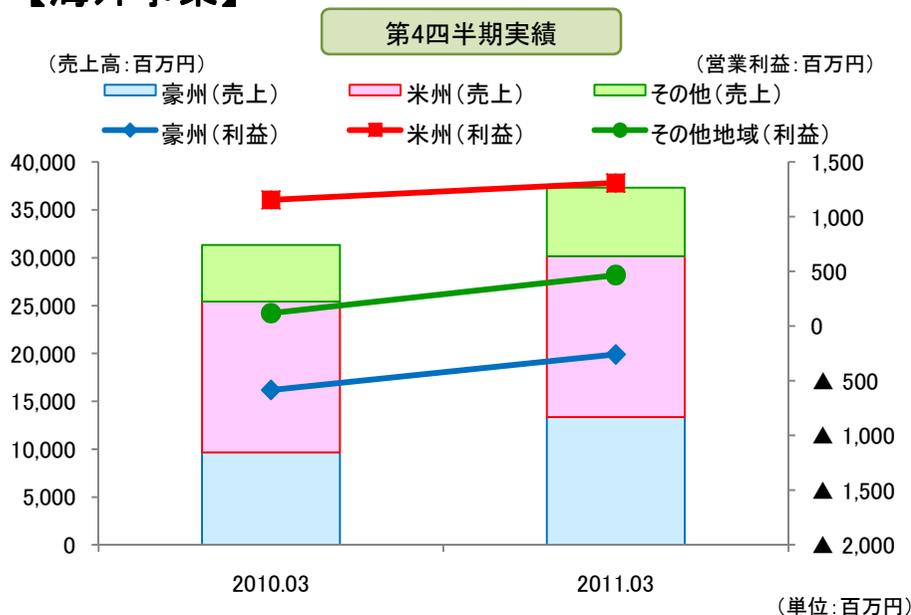
(売上高)

- ・水産は、量販店チャネルを伸長させるが、寿司店チャネルが苦戦
- ・チーズは、主要チャネル(製パン、食品メーカー、外食等)向けの販売が好調
- ・ヨーグルトは、CVSチャネルや生協チャネルでの売上が減少

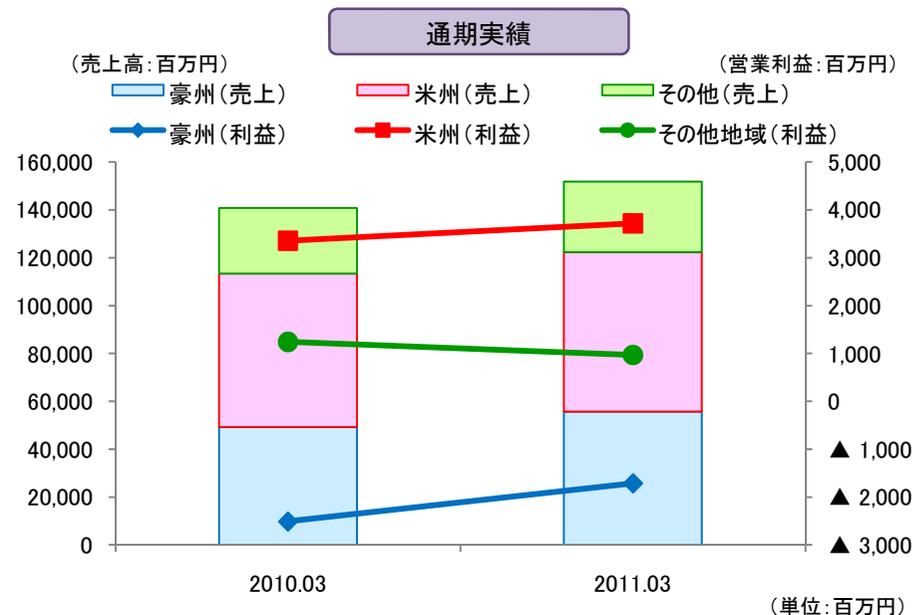
(営業利益)

- ・水産は、自社工場製品の数量増加と年末商戦の好調により、利益率が向上
- ・チーズは、売上の伸長による粗利益増に原料価格の安定が加わり好調に推移

【海外事業】



		2010年3月期	2011年3月期	前年差	前年比
海外計	売上高	30,988	36,745	5,757	18.6
	営業利益	687	1,515	828	120.5
豪州	売上高	9,648	13,346	3,698	38.3
	営業利益	△ 583	△ 259	324	-
米州	売上高	15,792	16,815	1,023	6.5
	営業利益	1,154	1,309	155	13.4
その他地域	売上高	5,902	7,181	1,279	21.7
	営業利益	118	467	349	295.8



		2010年3月期	2011年3月期	前年差	前年比
海外計	売上高	138,660	148,981	10,321	7.4
	営業利益	2,102	2,966	864	41.1
豪州	売上高	49,308	55,766	6,458	13.1
	営業利益	△ 2,510	△ 1,712	798	-
米州	売上高	64,045	66,611	2,566	4.0
	営業利益	3,354	3,718	364	10.9
その他地域	売上高	27,508	29,477	1,969	7.2
	営業利益	1,242	968	△ 274	-

※売上金額は、セグメント間の内部売上高を消去する前の金額です。(セグメント間取引の消去があるため、海外計は各地域の合計とは一致しません)

※米州には、北米と南米の事業が含まれます。また、その他海外は、アジア、欧州となっております。

【第4四半期の状況】

(売上高)

- ・豪州事業はロシア、欧州、アジア等向けの輸出が堅調に推移

(営業利益)

- ・豪州事業の改善に加え、米州事業はテキサスファームの改善により増益

【通期の状況】

(売上高)

- ・豪州事業、米州事業ともに売上が好調で堅調に推移

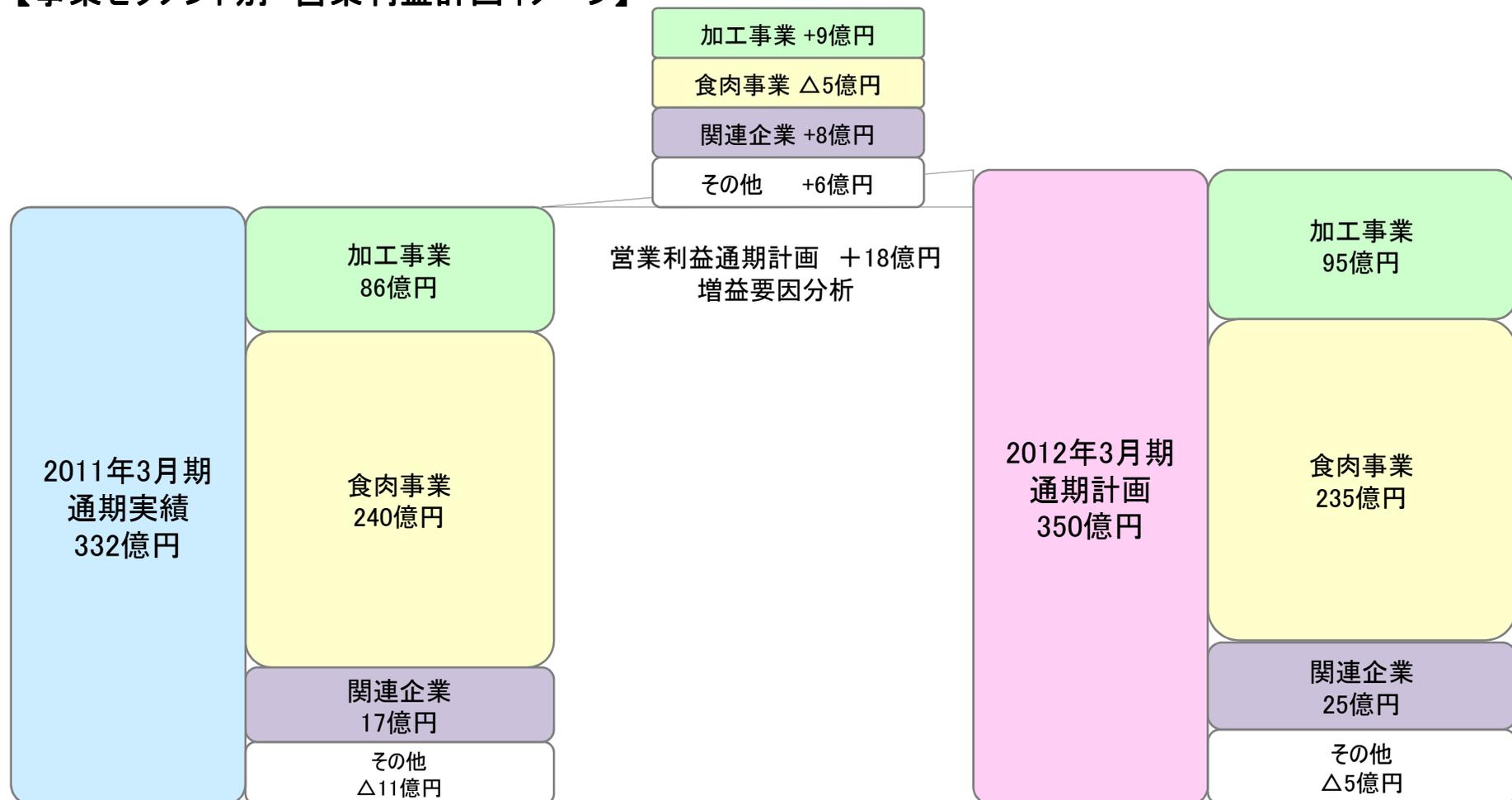
(営業利益)

- ・豪州事業は販売数量増により改善傾向(+8億円の改善)

2012年3月期の見通し

1. 2012年3月期 事業セグメント別営業利益計画イメージ
2. 加工事業本部の見通し
3. 食肉事業本部の見通し
4. 関連企業本部の見通し

【事業セグメント別 営業利益計画イメージ】



	上期	下期	通期
2011年3月期実績	129億円	203億円	332億円
2012年3月期計画	145億円	205億円	350億円
対前年差	16億円	2億円	18億円

●ギフト売上拡大施策

- ・中元、歳暮ともに105%を目標(昨年比、個数ベース)
- ・「美ノ国」を中心に、販促展開(TVCM、雑誌広告等)
- ・各ブランドで売れ筋商品への集中化を図る
- ・惣菜ギフトを合わせてトータルで前年比110%を目指す

【(参考)ハム・ソーセージギフト販売個数 実績と2012年3月期販売計画】

(単位:千個・%)

	2011年3月期実績		2012年3月期計画	
	個数(千個)	前年比	個数(千個)	前年比
中元ギフト販売個数	1,956	102%	2,050	105%
歳暮ギフト販売個数	4,905	102%	5,150	105%
合計	6,861	102%	7,200	105%

●主要ブランド・新商品売上拡大施策

①ハム・ソーセージ

- ・今期の最重点ブランドである「森の薫りウインナー」、
- 「彩りキッチン(ロースハム・ベーコン群)」を中心に、
- TVCM及びキャンペーン等の販促を行い数量拡大に取り組む

【(参考) 主要ブランド商品売上高実績と計画(前年比)】

	前期実績	今期計画		前期実績	今期計画
シャウエッセン群	98%	100%	中華名菜群	102%	105%
森の薫りウインナー	98%	150%	石窯工房群	104%	105%
ロースハム群	95%	120%	プリフライ群	104%	108%
ベーコン群	97%	110%	ハンバーグ・ミートホール群	99%	106%

②加工食品

- ・「羽根つき餃子」「ミートパイ」等の重点新商品の販促を行い、
- 数量拡大と利益改善に取り組む

●チャネル別売上拡大施策

①コンシューマ

- ・新商品、リニューアル商品を中心に、重点ブランド商品の強化

②業務用

- ・大型食材、機能性商品の開発に注力し拡大を図る
- ・海外生産拠点(タイ)を活用した業務用チキン商材の拡販

【(参考)チャネル別 営業部門連結売上金額(前年比)】

	前期実績			今期計画		
	コンシューマ	業務用	計	コンシューマ	業務用	計
ハム・ソーセージ	97%	103%	99%	102%	102%	102%
加工食品	104%	111%	107%	103%	103%	103%

●トピックス

【原料・資材価格の営業利益への影響額】

⇒原材料・燃料費高騰の影響が大きく、約50億円のマイナス要因

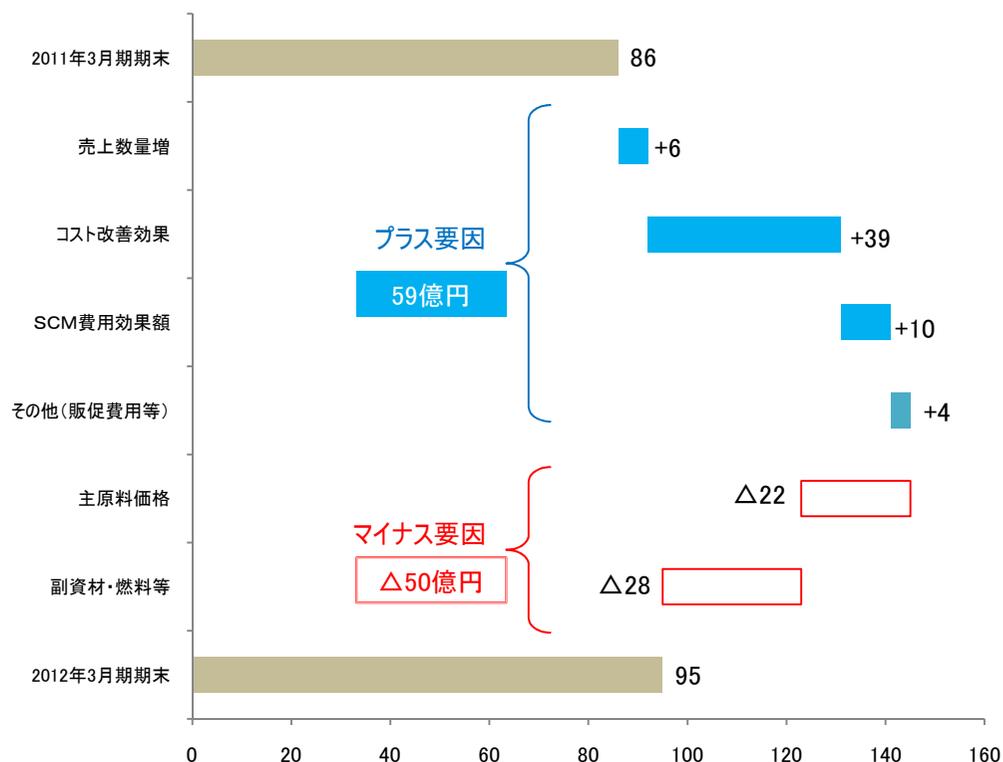
【加工事業本部トータルでの増減額】

⇒SCM効果、生産性向上、アイテム削減等の施策によりコストアップ分の吸収を図る

【加工事業本部 営業利益増減要因分析イメージ】

	2012年3月期 通期計画
売上数量増	6億円
コスト改善効果	39億円
SCM費用効果額	10億円
その他	4億円
プラス要因 合計	59億円
主原料・副資材価格アップ	
(内訳)主原料価格	△22億円
(内訳)副資材・燃料等	△28億円
マイナス要因 合計	△50億円
合計	+9億円

【加工事業本部 営業利益増減要因(+9億円)】



●海外事業の足元の状況

①豪州事業の現状

- ・生体価格は上昇基調だが、ロシア、欧州を中心に販売は回復傾向

②米州事業の現状

- ・テキサスファームは豚肉相場の回復により採算性が改善



●海外事業の見通し

①豪州事業の見通し

- ・引き続き原価の低減による利益率の改善と、ロシア、欧州、アジア等向けの販売の増加を目指す

②米州事業の見通し

- ・テキサスファームはコーン高騰に伴う飼料価格上昇が見込まれるが、品種改良や生産性向上等、コスト低減を引き続き実施

●国内生産事業の足元の状況

①飼料価格の現状

- ・前期より価格の上昇傾向が継続

②国内ファーム事業の現状

- ・鶏肉相場は、インフルエンザでの出荷羽数減少により相場が上昇したものの、コストも増加
- ・養豚事業は、口蹄疫・昨夏の猛暑での出荷頭数減少により相場が上昇。生産コスト低減効果もあり堅調に推移



●国内生産事業の見通し

①飼料価格の見通し

- ・穀物価格上昇の影響で、2011年より上昇傾向。今後も上昇する見込み

②国内ファーム事業の見通し

- ・養鶏事業において今回のインフルエンザの影響は限定的
- ・養鶏・養豚事業とも夏場以降、供給が前年並みに回復する見込み
- ・養豚事業は生産コスト低減等の取り組みを引き続き実施
- ・設備のメンテナンス、増改築等により国内川上事業の基盤を強化

●フード会社の足元の状況

- ・量販店チャンネルを中心に販売数量を拡大
- ・低価格品へのシフトにより、kg当たりの利益が減少したが足元は回復基調



●フード会社の見通し

- ・引き続き量販店を中心に販売数量を拡大し、シェアアップとkg利益の向上を目指す
- ・国産牛肉の販売倍増(3カ年)とブランド食肉の販売強化
- ・営業所設備の増改築等により、営業の基盤をさらに強化

●水産事業の足元の状況

- ・量販店チャンネルの売上は順調に伸長
- ・外食チャンネルは価格競争の激化により売上は減少

【(参考) マリンフーズ㈱ チャンネル別売上高伸び率】

	対前年比		
	前期第4Q実績	前期実績	今期計画
量販店チャンネル	100%	104%	108%
外食チャンネル	91%	90%	106%



●今後の方針

- ・量販店、外食チャンネルへの調達力、提案営業力強化による拡販
- ・国内自社工場製品拡販による利益率の向上

【(参考) マリンフーズ㈱ 自社工場製品売上高伸び率】

	前期実績	今期計画
自社工場製品	8,326トﾝ	9,000トﾝ
対前年比	110%	108%

- ・重点商品である海老関連商材の拡販

●乳製品事業の足元の状況

- ・チーズは製パン、外食、食品メーカー向けの販売が好調に推移
- ・ヨーグルトはCVS、生協チャンネルで売上が減少

【(参考) 乳製品商品別売上高伸び率】

	対前年比	
	前期実績	今期計画
チーズ	103%	112%
ヨーグルト	96%	107%



●今後の方針

- ・チーズはベビーチーズにてコンシューマ市場へ本格参入
- ・製造技術を生かし、更なる業務用チーズの拡販
- ・ヨーグルトは量販店チャンネルにおいて、重点商品・新商品の定番化を推進
- ・CVSチャンネルに対して、ドリンクヨーグルトの拡販強化

●主原料・副資材価格の動向(2011年3月期)

- ・チーズ原料は、安定的に推移
- ・ヨーグルト原料において国産、輸入原料ともに安定的に推移



●今後の見通し

- ・チーズ原料は、2011年において上昇する見込み
⇒販売数量の拡大でカバーしていく
- ・ヨーグルト原料については、国産は安定する見込みであるが、輸入原料(調製品)は上昇する見込み
⇒生産性向上と商品構成の見直しで吸収を目指す

※計画数値は当資料P18の品種別の数値とは一致しません

2011年3月期 期末財務データ

1. 2011年3月期連結業績概要及び2012年3月期計画
2. 2011年3月期 連結売上区分伸び率

2011年3月期連結業績概要及び2012年3月期計画《所在地別セグメント状況》

3. 販管費・その他収益・その他費用
4. 貸借対照表、設備投資額・減価償却費
5. 連結キャッシュフロー、経営指標

(単位: 百万円、%)

《連結業績》	2011年3月期実績						2012年3月期計画					
	上期 実績	前年比	下期 実績	前年比	通期 実績	前年比	上期 計画	前年比	下期 計画	前年比	通期 計画	前年比
売上高	483,100	1.7	506,208	5.8	989,308	3.7	500,000	3.5	520,000	2.7	1,020,000	3.1
ハム・ソーセージ	64,654	△ 3.0	70,287	△ 0.9	134,941	△ 1.9	66,000	2.1	72,000	2.4	138,000	2.3
加工食品	97,438	5.2	100,307	4.3	197,745	4.7	100,000	2.6	104,000	3.7	204,000	3.2
食肉	259,688	3.7	270,466	10.1	530,154	6.9	271,000	4.4	279,000	3.2	550,000	3.7
牛肉	93,422	△ 1.9	98,961	15.2	192,383	6.2	98,000	4.9	101,000	2.1	199,000	3.4
豚肉	97,314	4.6	98,443	6.2	195,757	5.4	101,000	3.8	103,000	4.6	204,000	4.2
鶏肉	56,791	13.1	62,466	12.5	119,257	12.8	59,000	3.9	65,000	4.1	124,000	4.0
その他食肉	12,161	0.8	10,596	△ 7.3	22,757	△ 3.1	13,000	6.9	10,000	△ 5.6	23,000	1.1
水産	38,963	△ 2.4	41,472	△ 2.8	80,435	△ 2.6	41,000	5.2	43,000	3.7	84,000	4.4
乳製品	10,941	△ 3.6	10,962	3.0	21,903	△ 0.4	12,000	9.7	12,000	9.5	24,000	9.6
その他	11,416	△ 18.1	12,714	0.8	24,130	△ 9.1	10,000	△ 12.4	10,000	△ 21.3	20,000	△ 17.1
売上原価	386,773	1.7	399,105	6.6	785,878	4.1						
売上総利益	96,327	1.9	107,103	2.9	203,430	2.4						
売上総利益率	19.9%	-	21.2%	-	20.6%	-						
販売費及び一般管理費	83,412	△ 2.7	86,843	△ 1.3	170,255	△ 2.0						
営業利益	12,915	47.5	20,260	25.8	33,175	33.5	14,500	12.3	20,500	1.2	35,000	5.5
税引前利益	11,358	33.3	18,165	17.2	29,523	22.9	13,000	14.5	17,000	△ 6.4	30,000	1.6
当社株主帰属当期純利益	6,782	25.5	9,949	△ 3.6	16,731	6.4	7,500	10.6	9,500	△ 4.5	17,000	1.6

* 米国会計基準を組替えて表示しております。

* 前年比は、対前年増減率で表示しております。

【連結売上区分別伸び率】

品種
ハム・ソーセージ
加工食品
食肉
牛肉
豚肉
鶏肉
その他食肉

2011年3月期 連結第4四半期実績伸び率	
数量	金額
△ 2.0	△ 1.5
9.1	9.6
5.1	10.3
19.4	18.3
3.1	7.2
0.5	11.2
△ 22.4	△ 20.6

2011年3月期 連結通期実績伸び率	
数量	金額
0.1	△ 1.9
8.4	4.7
4.3	6.9
8.7	6.2
1.0	5.4
6.3	12.8
△ 6.1	△ 3.1

【所在地別セグメント状況】

(単位:百万円、%)

《連結業績》	2011年3月期実績			2012年3月期計画					
	上期実績	下期実績	通期実績	上期計画	前年比	下期計画	前年比	通期計画	前年比
《所在地別セグメント情報》									
国内売上高	448,901	470,532	919,433	463,500	3.3	482,500	2.5	946,000	2.9
外部顧客売上高	448,638	470,250	918,888	463,000	3.2	482,000	2.5	945,000	2.8
セグメント間内部売	263	282	545	500	90.1	500	77.3	1,000	83.5
国内営業利益	11,840	18,045	29,885	13,000	9.8	18,000	△ 0.2	31,000	3.7
国内売上高営業利益率	2.6%	3.8%	3.3%	2.8%	-	3.7%	-	3.3%	-
海外売上高	73,071	75,910	148,981	77,000	5.4	79,000	4.1	156,000	4.7
外部顧客売上高	34,462	35,958	70,420	37,000	7.4	38,000	5.7	75,000	6.5
セグメント間内部売	38,609	39,952	78,561	40,000	3.6	41,000	2.6	81,000	3.1
海外営業利益	717	2,249	2,966	1,500	109.2	2,500	11.2	4,000	34.9
海外売上高営業利益率	1.0%	3.0%	2.0%	1.9%	-	3.2%	-	2.6%	-

* 所在地別セグメント状況の売上金額は、セグメント間の内部売上高を消去する前の金額です。

* 前年比は、対前年増減率で表示しております。

連結業績概要(販管費・その他収益・その他費用)

Copyright (C) 2011 Nippon Meat Packers, Inc. All rights reserved.

(単位: 百万円、%)

《販管費》		2010年3月期 通期実績	通期実績	2011年3月期 対前年増減率	対前年増減額
★①	販売費および一般管理費	173,769	170,255	△ 2.0	△ 3,514
★②	人件費	69,167	66,719	△ 3.5	△ 2,448
★③	広告宣伝費	13,110	12,471	△ 4.9	△ 639
★④	物流費	36,800	37,981	3.2	1,181
	その他	54,692	53,084	△ 2.9	△ 1,608

主な増減要因

- ★① 販管費 売上高販管比率は 18.2% から 17.2%へ 1.0ポイント低下
- ★② 人件費 事業の合理化及び、退職給付費用等の減少により約24億円減少
- ★③ 広告宣伝費 TVCMを含めた販売促進費の効率化により約6億円減少
- ★④ 物流費 販売数量増加により運賃が前期比約11億円増加

(単位: 百万円、%)

		2010年3月期 通期実績	通期実績	2011年3月期 対前年増減率	対前年増減額
	その他収益合計	4,694	1,030	△ 78.1	△ 3,664
★①	受取利益・配当金	540	548	1.5	8
	為替差益	4,095	-	-	△ 4,095
	その他	59	482	716.9	423
	支払利息	2,125	2,125	0.0	0
	その他費用合計	3,400	2,557	△ 24.8	△ 843
	有価証券売却・評価損	1,887	905	△ 52.0	△ 982
	固定資産減損	792	1,422	79.5	630
	特別退職金	221	71	△ 67.9	△ 150
★①	為替差損	-	106	-	106
	その他	500	53	△ 89.4	△ 447

主な増減要因

- ★① 為替差損益 主として海外会社の円建て借入金換算差損益

連結業績概要(貸借対照表、設備投資額・減価償却費)

Copyright (C) 2011 Nippon Meat Packers, Inc. All rights reserved.

(単位: 百万円、%)

《連結貸借対照表》		2010年3月期 期末実績	2011年3月期 期末実績	対前期末 増減率	対前期末 増減額
★③	資産合計	604,201	590,688	△ 2.2	△ 13,513
	現金及び現金同等物	43,518	51,409	18.1	7,891
★①	売上債権	100,366	104,501	4.1	4,135
★②	棚卸資産	100,545	107,599	7.0	7,054
	有形固定資産	227,081	219,324	△ 3.4	△ 7,757
	投資及びその他の資産	29,950	27,764	△ 7.3	△ 2,186
	長期繰延税金資産	15,617	15,993	2.4	376
	負債合計	330,239	307,484	△ 6.9	△ 22,755
	支払手形及び買掛金	84,124	90,317	7.4	6,193
★④	有利子負債	187,585	155,263	△ 17.2	△ 32,322
	退職金及び年金債務	16,128	17,581	9.0	1,453
	当社株主資本	271,908	281,067	3.4	9,159
	非支配持分	2,054	2,137	4.0	83
	資本合計	273,962	283,204	3.4	9,242

主な増減要因

- ★① 売上債権 売上高増加により約41億円増加
- ★② 棚卸資産 主として食肉在庫の増加により約71億円増加
- ★③ 資産合計 ①②のほか余資運用残高(定期預金・有価証券)の減少(約220億円:長期借入金期日弁済に充当)などにより総資産は約135億円減少
- ★④ 有利子負債 長期借入金の期日弁済等により約323億円減少

(単位: 百万円、%)

《設備投資額、減価償却費》	2010年3月期 通期実績	2011年3月期 通期実績	対前年増減率	対前年増減額	2012年3月期 通期計画
設備投資額	19,754	17,189	△ 13.0	△ 2,565	23,400
生産設備	9,440	9,088	△ 3.7	△ 352	9,200
販売・物流設備	2,347	1,644	△ 30.0	△ 703	4,300
ファーム・処理設備	3,674	3,406	△ 7.3	△ 268	5,900
海外事業設備	835	1,589	90.3	754	2,000
その他設備	3,458	1,462	△ 57.7	△ 1,996	2,000
減価償却費	24,408	24,115	△ 1.2	△ 293	24,000

(単位:百万円)

《連結キャッシュ・フロー計算書》	2010年3月期	2011年3月期		2010年～2011年 2年間累計実績	新中期経営計画 ^ハ ・ ^ト ・ ^Ⅲ 3年間累計当初計画	進捗率
	期末実績	期末実績	対前年増減額			
★① 営業活動キャッシュ・フロー	67,448	36,761	△ 30,687	104,209	112,000	93.0%
投資活動キャッシュ・フロー	△ 60,134	8,745	68,879	△ 51,389	△ 73,700	69.7%
財務活動キャッシュ・フロー	△ 5,227	△ 36,951	△ 31,724	△ 42,178	△ 31,600	133.5%

主な増減要因

★① 営業キャッシュフロー	2010年3月期	2011年3月期
売上債権の(△増)減	3,048	△4,230
棚卸資産の(△増)減	16,950	△7,529

(単位:百万円)

《B/S 経営指標等》	2010年3月期	2011年3月期		2012年3月期当初計画 新中期経営計画 ^ハ ・ ^ト ・ ^Ⅲ
	期末実績	期末実績	対前年増減額	
ROA(税引前)	4.0%	4.9%	-	4.8%
株主資本比率	45.0%	47.6%	-	49.4%
有利子負債	187,585	155,263	△ 32,322	170,000
D/Eレシオ(倍)	0.69	0.55	-	0.54

お問合せ先
〒141-6014 東京都品川区大崎2-1-1
ThinkPark Tower 14階
日本ハム株式会社 広報IR部
電話：03-6748-8024
FAX：03-6748-8189

見通しに関する注意事項

この資料には、当社の将来についての計画や戦略、業績に関する見通しの記述が含まれています。これらの記述は当社が現時点で把握可能な情報から判断した仮定及び所信に基づく見通しです。また、経済環境、市場動向、為替レートなどの外部環境の影響があります。従って、これら業績見通しのみで全面的に依拠することはお控え頂きますようお願い致します。また、実際の業績は、さまざまな重要な要素により、これら業績見通しと異なる結果となりうることをご承知おき下さい。